

「西條」

令和8年度 第2号

壁はそれを乗り越えることができる人の前に現れる

保護者、地域の皆様には、様々な教育活動に対して、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。早いもので「大暑」へ季節が移り変わり、いよいよ夏本番となりました。

4月9日、82名の新入生を迎え、令和8年度は生徒数296名でスタートしました。1年生は、新しい仲間が増え、小学校とは異なる授業や部活動等に一生懸命に取り組んでいます。2年生は、先輩と呼ばれ、7月の「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」では、地域の事業所で働くことを通して、多くの経験をさせていただきました。3年生は、最高学年として、西條中学校の全ての活動を牽引し、部活動の大会や市音楽会では、これまでの練習の成果を披露しました。

さて、西條中学校卒業生の中には、いくつもの壁を乗り越えて活躍している先輩方がたくさんいます。

◎陸上競技

- ・競歩で日本代表としてアジア選手権や世界競歩に出場。アジア選手権では、団体銀メダル。世界競歩では、団体銅メダルに貢献しました。

◎ハンドボール

- ・全日本女子のメンバーとして活躍。アジア大会で韓国に快勝し、初めての金メダルの栄冠を手にしました。
- ・日本代表としてオリンピックに出場。海外のプロリーグで活躍している。

◎プロ野球

- ・読売ジャイアンツに所属し、一軍定着を目指して頑張っている。
- ・楽天イーグルスに所属し、今シーズンは、怪我のため手術をし、復帰をかけてリハビリに励んでいる。

◎バスケットボール

- ・県外の強豪校、大阪薫英女学院高等学校に進学し、全国高校選手権大会（ウインターカップ）初優勝に貢献しました。

◎バレーボール

- ・高岡商業高等学校に進学し、高校総体富山県予選では、17年ぶりの優勝に貢献し、悲願の全国高等学校総合体育大会出場を果たしました。

その他にも、自分の夢の実現を目指し、難関大学に進学し、頑張っている先輩方もたくさんいます。自分たちと同じ校舎から巣立ち、大きな舞台で活躍する先輩の姿は、生徒の心に強く響きます。「私たちにもできる!」と勇気を与えてくれます。

そんな先輩方も、そこにたどり着くまでにたくさんの壁を乗り越えてきています。この後、みなさんの前にも大きな壁が現れるかもしれません。壁にぶち当たっても決してあきらめることなく努力を継続してください。どんな壁にぶち当たろうとも、それを乗り越える人の前にしか現れないのです。子供はあらゆる可能性を秘めています。子供自身の努力や鍛錬はもちろんですが、大人の声かけや働きかけも重要です。今、西條中学校で学んでいる生徒も、大きな舞台に活躍する先輩の姿を励みにし、自分の夢に向かって頑張ってくれることを願っています。

西條中学校の目指す学校像には、次の三つが掲げられています。

「認め合う仲間が集う学校」「支え合う仲間が集う学校」「学び合う仲間が集う学校」

西條中学校に集う296名の生徒と全教職員、そして地域の皆様が、認め合い、支え合い、学び合う関係であり続けられるよう、教職員一同努めてまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

氷見市立西條中学校 教頭 小間 健郎